

【いしのまきカフェ「」】

【河北新聞】

2012年6月20日

カフェ運営やってみませんか!!高校生スタッフ募集

カフェ運営 ◯◯ やってみませんか!!

高校生スタッフが切り盛りする喫茶店（仮称・高校生がつくるいしのまきカフェ「」=かぎかっこ=）を石巻市役所1階に開設する計画が、NPO法人などを中心に進んでいる。店の運営に携わることは街づくりへの参加意識を高め、将来の就労にも役立つという狙いから実施する支援事業で、希望者を募っている。24日の初会合を皮切りにワークショップを重ねながら、9月末のオープンを目指す。

9月末 石巻市役所に開設

計画は日本財團（東京）、NPO法人み・らいず（大阪）など各地の団体、企業が協力し合って始動。地元からも、石巻市穀町に中高生のサロン空間を開設する「ほつとスペース」が企画段階から加わった。

■メニューも決める

開設場所は市役所1階の北側入り口近くにある空きスペース。コーヒーなどのドリンクを中心と提供する店で、詳細なメニューは参加者とともに決めていく。

24日午前10時から、現地で初会合を開催。①石巻の魅力②この街に必要な空間③カフェのコンセプトなどを自由に話し合つか、参加者の希望を聞きながら三つの

NPO法人企画 24日、初会合

人間に企画
NPO法人企画
24日、初会合
チム（商品開発、空間づくり、waytosmiles.jp

高校生スタッフ募集

広報に分ける。その後、月2回程度、ワークショップを開いて開店準備を進める。

み・らいずの岩本恭典事務局長は「自分の得意分野を仕事に生かしたい、石巻の魅力を広める仕事をしたいなど、夢を持っている高校生を応援したい。自分たちで考えて実践していくカフェ運営は有意義な経験になるとと思う」と語る。関心のある高校生に募集を呼び掛けおり、既に十数人から回答があるという。

希望者は電話またはメールで、氏名（ふりがな）、学校、学年、住所、電話番号、メールアドレスを伝え申し込み。連絡先は、ほつとスペース（020）9337-1。メールの宛先はcafe@door

【石巻経済新聞】

2012年6月25日

石巻市役所に今秋「高校生カフェ」一開設に向け作戦会議開く

ヘッドラインニュース

石巻市役所に今秋「高校生カフェ」－開設に向け作戦会議開く

ツイート 61いいね！ 93+1 2 チェック B! シェア

この記事の場所を見る (2012年06月25日)



写真を拡大

いしのまきカフェ「」(かぎかっこ)の開店に向けた作戦会議をする高校生たち

初回となる当日は石巻市内や女川町から34人の高校生が参加し、それぞれの特技やニックネームとともに自己紹介を行い互いに打ち解けた。その後、カフェ開設に当たり、期待すること、心配すること、やってみたいことなど、テーマごとに自由に意見を交換した。

店名の「」(かぎかっこ)の中は現在未定で、今後高校生たちがカフェのコンセプトや理想像を話しあい、決定していく予定だ。

主催はフィリップモ里斯ジャパン、日本財団などが支援する被災地支援事業Doorway to Smiles。今後はカフェの運営について話し合うワークショップを2週間に1度のペースで開き、その後、高校生たちは「商品開発チーム」「空間づくりチーム」「情報発信チーム」に分かれて、今年9月29日の開店に向けて企画や商品の開発を進めていく。

▶ 石巻市役所に食堂「いしのまキッチン」－地元に雇用創出（石巻経済新聞）
▶ いしのまきカフェ「」

【YOMIURI ONLINE】

2012年6月25日
石巻市役所に「高校生カフェ」準備中

ニュース

一覧

石巻市役所に「高校生カフェ」準備中

[ツイート](#) 6 [おすすめ](#) 6 [おすすめ](#) [チェック](#) [?](#)

宮城県石巻市役所の空きスペースを活用した喫茶店を地元の高校生らが、プロデュースする。9月末のオープンを目指し、メニューや店舗のデザインを話し合って決めていく。

就職に悩む被災地の若者の自立などを支援する団体が、カフェづくりに参加する高校生を公募し、応募した42人のうち34人が、24日に初顔合わせをした。

カフェは、日用品店や老舗かまぼこ店などが並ぶ市役所1階の、広さ64平方メートルの空きスペース内にオープンする予定。商品やデザインだけでなく、宣伝方法や店名も高校生が決めることになる。

この日は、希望する役割やどんなカフェにしたいか、などについてグループごとに意見をまとめた。「被災沿岸部の名産品を販売する」、「若い人からお年寄りまで気軽に来られる」、「イメージキャラクターを作る」など、アイデアを付箋紙に書き込んだ。

(2012年6月25日 読売新聞)

【日本財団ブログ・マガジン】

2012年7月2日

高校生カフェがプレオープン 若い力で石巻の名所づくり

高校生カフェがプレオープン 若い力で石巻の名所づくり [2012年07月02日 (Mon)]



市役所1階のプレオープン会場

東日本大震災被災地の高校生がカフェを作り、地域の人たちと交流を図り、復興の担い手になろう—というプロジェクトが発足、6月24日、宮城県石巻市役所でプレオープンの式典があった。日本財団とたはこメーカー・フィリップモリスジャパンによる共同企画で、いずれも大阪を中心に活動しているNPO み・らいす、NPO スマイルスタイル、NPO Co.to.hanaが協力、この9月に若い手による「いしのまきカフェ」がオープンする。



(左から) あいさつする尾形・日本財団理事長、亀山市長、井上コーポレートアフェアーズディレクター

プレオープン式典は、石巻市から提供された市役所1階のカフェ用のスペース（64平米）で開催され、参加予定の42人（市内の9つの高校に在籍）の高校生のうち県立石巻好文館高校3年の斎藤拓磨君、県立石巻西高3年の鈴木亜紀さんら34人（うち男子は5人）が出席し、午前10時から始まった。開会のあいさつの後、石巻高校OBである日本財団の尾形武寿理事長があいさつ。「石巻の未来はあなた方にかかっている。町の人たちと一緒に考え、行動し、石巻の発展に尽くしてほしい」と激励した。続いて、亀山航石巻市長が「石巻の復興の担い手として前に進んではいい。ここにどんな夢が実現するか期待している」と呼び掛け、フィリップモリスジャパンの井上哲・コーポレートアフェアーズディレクターも「9月までにどんなものができるか楽しみにしている」と、高校生に語りかけた。



運営を支援する9人のメンバー

参加メンバーの自己紹介のあと、メンバーはカフェについて「イメージすること」「期待すること」「自分にできうこと」「やるべきこと」「心配事」の5グループに分かれ意見交換した。この結果、「ラップとやってきて、ラップと入ることができる場所」「(イメージすること)、「地元の人との交流」「期待すること」、「役に立てる場所」「大きな失敗をしないか」「みんなと仲良くやっていけるか」(以上、心配事)などの声が出ていた。



初の意見交換／カフェが置かれる石巻市役所

このカフェについて、NPOスマイルスタイル代表の塙山謙さんは「正解は持っていない。日ごろモヤモヤしている思いがあるだろうが、みんなの思い、イメージを形にして社会に出てからもやっていける力を身に着けてください。カフェを日本中に希望と勇気を与える場所にしたい」と、意気込みを語った。

カフェの名前は現在「」（カギカッコ）のままで、今後、高校生らがオープンに向けて考えること、メンバーはこの後、「商品開発チーム」「空間デザインチーム」「広報デザインチーム」の3チームに分かれて意見交換を重ね、9月29日（土）のオープンを目指す。オープン後の運営は高校生が中心となり、地元の素材を使ったメニューやWebによる商品流通の展開を考えており、カフェが大きな津波被災を受けた石巻の名所になり、市民が活力を取り戻すオアシスになることが期待されている。（石井亮則）

【文化・教育・社会問題の最新記事】

- 自然と日常との関わりを大切に～千葉・金谷..
- お墓の「おそうじ」代行します～工賃向上目..
- 琵琶湖から東北へ広がる鮑 特産魚養殖の力..
- 「この学びは私だけのものではない」被災..
- シャッター通りが繁華街に復活 いわきの夜..

【大阪日日新聞】

2012年7月11日

復興へ高校生がカフェづくり 大阪のNPOが支援

復興へ高校生がカフェづくり 大阪のNPOが支援

2012年7月11日

東日本大震災で被害を受けた宮城県石巻市で、大阪のNPO法人などの支援により、高校生が中心となってカフェづくりに取り組んでいる。雇用促進や起業意識の向上を図る狙いで、カフェの運営も高校生が中心になって行う。



6月に開かれた『いしのまきカフェ』の第1回企画会議の様子

高校生らとカフェの開店を目指しているのは「Co. to. hana」（住之江区北加賀屋2丁目）「み・らいず」（同区南加賀屋4丁目）「スマイルスタイル」（西区西本町2丁目）の3法人で、フィリップモリスジャパン（東京）が社会貢献の一環として費用などを負担し、日本財団とともに支援している。

石巻市は震災以降、就職のため市外へ移る若者が多くなっている。県外からの支援は子どもや高齢者が中心となりがちで、若者の自立を支援し、活性化を図る狙い。

企画は『いしのまきカフェ「かぎかっこ」』。市役所内にある広さ約20坪の空間にゼロから生み出すという思いで、店の名も開けている。

6月に最初の会議が開かれ、44人が参加。役割分担などを終え、放課後にリサーチ活動などを行っている。大阪の3法人はそれぞれ専門のデザイン、メニュー作り、広報活動などを手助けしながら、今秋のオープンを目指して活動していく。

「Co. to. hana」の西川亮代表は「個性豊かな子が参加してくれ、面白いものになるのではと手応えを感じている。完成して足を運んでもらいたいが、計画中もホームページやブログなどで情報発信をしていく。大阪の人にも被災地を別の角度から知ってもらいたい」と話している。

【alterna×S 昨日と違うスイッチを探そう】

2012年7月25日

復興地・石巻で高校生が作るカフェ、今秋開店予定

alterna×S 昨日と違うスイッチを探そう。

Feature Interview Job Love Films&Books Art

Job

2012年7月25日 up

復興地・石巻で高校生が作るカフェ、今秋開店予定

文=今一生

東日本大震災によって深刻な津波被害に見舞われた宮城県石巻市。その市役所の一階で6月24日、地元の高校生たちによって企画・運営されるカフェについての初の作戦会議が開催された。



6月24日の初ミーティング。高校生たちは各自どんなカフェにしたいのかについてアイデアを出し合った（画像提供：NPO法人スマイルスタイル）

これは、フィリップモリスジャパン（東京・千代田）と日本財団（東京・港）が始めた被災地の子ども支援共同プロジェクト「Doorway to Smiles」の一環。

カフェの名前は未定のため、「」（かぎかっこ）と呼ばれている。石巻経済新聞6月25日付けの記事によると、「当日は石巻市内や女川町から34人の高校生が参加し、それぞれの特技やニックネームとともに自己紹介を行い互いに打ち解けた」という。

高校生たちは商品開発・空間作り・広報の3チームに編成され、今後は隔週で土曜の13時から16時にワークショップを開催。9月29日の開店を予定している。

地元の素材を使ったメニュー、ウェブでの商品流通などの展開も想定し、まちの人の心をつなぐ石巻の新しい名所を目指すという。

運営には、NPOのスマイルスタイル（大阪・西区）、み・らいず（大阪・住之江区）、Co.to.hana（同、代表：西川亮）なども参加している。

また、社会福祉法人石巻市社会福祉協議会、石巻地区高校ボランティア連絡協議会、社会福祉法人東北福祉会自立援助ホームせんだんの家も協力し、石巻市、石巻市教育委員会も後援している。

現在、このカフェを手伝いたい大学生や一般市民の運営スタッフも公募中。高校生たちによる飲食店の運営は、テレビドラマにもなった三重県立相可高校食物調理科の生徒たちによる「まごの店」など既に他の地方でも試みられている。被災地でも地元の市民に末永く愛される店を作り上げてほしい。（今一生）

●「」（かぎかっこ） 公式サイト
<http://doorwaytosmiles.jp/>

【北陸中日新聞】

2012年9月4日
高校生40人がカフェ企画

石巻復興「役立ちたい」

東日本大震災で大きな津波
被害を受けた宮城県石巻市
で、地元の高校生約四十人が
企画・運営するカフェづくり
が進んでいる。「大好きな石
巻の魅力を発信し、復興に役
立ちたい」。十一月のオープン
に向け、開発・空間づくり・広報の
三チームに分かれ、話し合い

高校生40人がカフェ企画



1日限定でプレオープンした地元の高校生たちのカフェ=8月、宮城県石巻市役所で

中日夕刊

11月オープンへ 店名や販売商品話し合う

日本財団（東京）などが参
加者を公募した。市も協力
し、JR石巻駅前にある市役
所一階の空きスペースを提供
した。六月の初顔合わせ以降、商
業開発・空間づくり・広報の
入り口には長谷部さんの詩
が掲げられている。「私たち
のそばにはいつも自然があり
ました。それは今も変わりま
せん。私たちはこのまちと、
そしてこの自然と共に毎日を
過ごしていきます」

を重ねている。現在は未定の
ため「（かぎかっこ）」とし
ている店名や、販売する商品
も高校生が決める。
「石巻のために何かしたい
と、ずっとと思っていた」。メ
ンバーの石巻西高三年、鈴木
亜紀さんは「苦労している市
民の皆さんのが和めるような空
間にしたい」と話す。
八月、地元の祭りに合わせ
た一日限定のプレオープン。メ
ンバーは販売や客の呼び込
み、お釣りの計算に追われた。
地元の日和山の新緑をイメ
ージしたメロンの「日和ジュ
ース」と、夏の太陽としてオ
レンジとグレープフルーツを
ミックスした「日向ジュー
ス」を各三百円で販売、好評
だった。日和山のササを会場
に添えた。

「津波で自然に否定的な見
方が広がったけど、石巻の自
然は魅力だし、明るく伝えて
いきたい」と石巻西高二年の
長谷部朱音さん。自然との共
生への願いが商品にも込めら
れている。

「石巻のために何かしたい
と、ずっとと思っていた」。メ
ンバーの石巻西高三年、鈴木
亜紀さんは「苦労している市
民の皆さんのが和めるような空
間にしたい」と話す。

12,904

中日夕刊

【サンケイスポーツ新聞】

2012年9月5日
被災地の高校生がカフェ「復興に役立ちたい」11月開店へ

【京都新聞】

2012年9月5日
被災地の高校生カフェ

1日限定でプレオープンした地元の高校生たちの
カフェ=8月、宮城県石巻市役所



復興へ元気＆和み

被災地に高校生カフェ

東日本大震災で大きな津波被害を受けた宮城県石巻市で、地元の高校生約40人が企画・運営する「石巻のための何かしら」。6月の初顔合わせ以来、話合いを重ねて力を使い、復興に役立ちたい」。11月のオープンを目指している。

いる。現在は未定のため「（かぎかっこ）としている店名や、販売する商品も高校生が決める。

9/15
11月オープンへ

にしたい」と話す。

高2年の長谷部朱音さん。

8月、地元の祭りに合わせた1日限定のプレオープン。メンバーは販売や客の呼び込み、釣りの計算に追われた。「津波

た」。メンバーの石巻西高3年、鈴木亜紀さんは「苦労している市民の皆さんのが和めるような空間えていきたい」と石巻西

入り口には長谷部さんの詩が掲げられている。

「私たちのそばにはいつも自然がありました。それは今も変わりません。私たちはこのまちど、

そしてこの自然と共に毎日を過ごしていく

石巻の自然の魅力明るく伝えていきたい

日本財団（東京）など
が参加者を公募した。市
も協力し、JR石巻駅前
にある市役所1階の空き
スペースを提供した。

9月、地元の祭りに合
わせた1日限定のプレオ
ン。メンバーは販売
や客の呼び込み、釣りの
計算に追われた。「津波

た」。メンバーの石巻西
高3年、鈴木亜紀さんは
「苦労している市民の皆
さんが和めるような空間
えていきたい」と石巻西

入り口には長谷部さんの詩が掲げられている。

「私たちのそばにはい

いつも自然がありました。それは今も変わりませ
ん。私たちはこのまちど、

そしてこの自然と共に毎日を過ごしていく

2012年9月5日
石巻復興 カフェで力に

石巻復興 カフェで力に

高校生40人が企画運営

東日本大震災で大きな津波被害を受けた宮城県石巻市で、元の高校生約40人が企画・運営するカフェづくりが進んでいる。「大好きな石巻の魅力を発信し、復興に役立ちたい」。11月のオープンを目指している。

日本財団（東京）などが参加者を公募した。市も協力し、JR石巻駅前にある市役所1階の空きスペースを提供した。

6月の初顔合わせ以降、商品開発・空間づくり・広報の3チームに分かれ、話し合いを重ねている。現在は未定のため「（かぎかっこ）」としている店名や、販売する商品も高校生が決める。

「石巻のために何かしたいと、ずっと思っていた」。メンバーの石巻西高3年、鈴木亜紀さんは「苦労している市民の皆さんと和めるような空間にしたい」と話す。

8月、地元の祭りに合わせた1日限定のプレオープン。メンバーは販売や客の呼び込み、お釣りの計算に追われた。

地元の日和山の新緑をイメージしたメロンの「日和ジュース」と、夏の太陽としてオレンジとグレープフルーツをミックスした「日向ジュース」を各300円で販売、好評だった。日和山のササを会場に添えた。

「津波で自然に否定的な見方が広がったけど、石巻の自然は魅力だし、明るく伝えて生への願いが商品にも込められている。入り口には長谷部さんの詩が掲げられている。「私たちのそばにはいつも生への願いが商品にも込められていません。私たちはこのまちと、そしてこの自然と共に毎日を過ごしていきます」



1日限定でプレオープンした地元の高校生たちの
カフェ（8月、宮城県石巻市役所）

【東京新聞】

2012年9月6日
高校生力フェ準備進む

2012年(平成24年)9月6日(木曜日) 11版 4

被災地
発

東日本大震災で大き
な津波被害を受けた宮
城県石巻市で、地元の
高校生約四十人が企画
・運営するカフェづくり
りが進んでいる。「大
好きな石巻の魅力を発
信し、復興に役立ちたい
い」。十一月のオープ
ンを目指している。

日本財団（東京）な
どが参加者を公募し
た。市も協力し、JR
石巻駅前にある市役所
一階の空きスペースを

六月の初顔合わせ以降、商品開発・空間づくり・広報の三チームに分かれ、話し合いを重ねている。現在は未定のため「(かぎかっこ)」としている店名や、販売する商品も高校生が決める。

高校生力フエ準備進む

1日限定でプレオープンした地元の高校生たちのカフェ＝8月、宮城県石巻市役所で

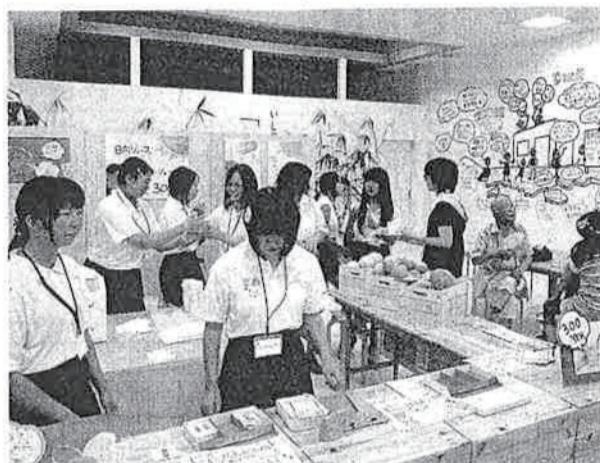
地元の日和山の新緑をイメージしたメロンの「日和ジュース」と、夏の太陽としてオレンジとグレープフルーツをミックスした「日向ジュース」を各三百円で販売、好評だ

「私たちのそばにはいつも自然がありました。それは今も変わりません。私たちはこのまちと、そしてこの自然と共に毎日を過ごします」

入り口には長谷部さんの詩が掲げられて
いる。

ど、石巻の自然は魅力
だし、明るく伝えてい
きたい」と石巻西高二
年の長谷部朱音さん。
自然との共生への願い
が商品にも込められて

つた。日和山のササを会場に添えた。



したいと、ずっと思つていた」。メンバーの紀さんは「苦労してい

る市民の皆さんのが和らぐような空間にしたい」と話す。

ど、石巻の自然は魅力
だし、明るく伝えてい
きたい」と石巻西高二
年（ひざまこうじ）あかね
さん（あかねさん）。

「津波で自然に否定的な見方が広がつたけれど、会場に添えた。」

【日本農業新聞 e農net】

2012年9月7日

復興へ高校生がカフェ 宮城県石巻市

日本農業新聞 e農net

日本最大級！230社が出展 AGRITECH [アグリテック] 第2回 国際 農業資材EXPO

ようこそ
ゲストさん

トップ トップニュース 主要ニュース 農政 営農 JA 経済 地域 文字サイズ 小 中 大
▶ 特集 ▶ 論説 ▶ フォト ▶ 一村逸品 ▶ 気象データ 検索 購読申し込み

トップ > フォトニュース

復興へ高校生がカフェ 宮城県石巻市 (2012年09月07日)

ツイート 12 好き 0 いいね！ 1 いいね！ 1 イイネ！

→地震関連情報ページへ



東日本大震災で大きな津波被害を受けた宮城県石巻市で、地元の高校生約40人が「大好きな石巻の魅力を発信し、復興に役立ちたい」と企画・運営するカフェづくりが進んでいる。11月のオープンを目指している。

会期：2012年10月10日 [水]～12日 [金]
開場時間：10:00～18:00 (12日 [金] のみ17:00終了)
会場：幕張メッセ
主催：リードエグジビション ジャパン株式会社
本展は仕入れ、販売を主な目的とした展示会です。招待券をお持ちの方、
「世界新農業や農業」以外の一般の方、18歳未満の方のご入場は断りお断りいたします。



ニュース カテゴリー

▶ 主要 ▶ 農政 ▶ 営農 ▶ JA ▶ 経済 ▶ 地域

ニュース ランキング

- ・輸入牛肉規制緩和 国民の意見募る 食品安全委員会にも
- ・融資参入に反対 ゆうちょ銀行で共同声明 民間金融8団体
- ・米国産牛肉 輸入緩和へ 食品安全委専門調査会評価書案を了承
- ・米国産牛肉規制緩和 国産への影響必至 流通業者は対応の動き
- ・復興へ高校生がカフェ 宮城県石巻市

検索

e農サーチ カテゴリー ▶ e農サーチとは？

2012年9月11日
いしのまきカフェ「」

ども新聞 2012年(平成24年)9月11日 火曜日 (4) +



▲石巻の高校生の想いがいっぱい
◀(左から)渥美麻友さん、阿部奈菜子さん、金野綾香さん

いしのまきカフェ

「」

11月3日、石巻市役所のビル1階にオープンする、いしのまきカフェ「」(かぎかっこ)は、ゼロから高校生が作っていくカフェ。お店の名前もこれから決まるので、かぎかっこの中は空白だ。このプロジェクトに参加している阿部奈菜子さん(石巻好文館高校2年生)、渥美麻友さん(石巻西高校2年生)、金野綾香さん(石巻高校2年生)に取材した。

いしのまきカフェ「」(かぎかっこ)は、石巻市の中高校生約40名が中心となって進めている。今は、どういうメニューにするか考える「商品開発チーム」、キッチンやカフェの雰囲気

文竹 愛香
(住吉中学校3年生)

を考える「空間チーム」、名前やロゴを考えたり、ブログに活動記録を書いたりする「情報発信チーム」という3つのチームに分かれ、それぞれカフェのオープンに向けて話し合いをしている。渥美麻友さんは、「石巻の復興の役に立ちたい」と話していた。

商品開発チームでは、今、メニューの開発をしている。メニューのすべてに、石巻の食べ物や特産品を使うことを考えているそうだ。空間チームの金野綾香さんは、「お店を自然な感じにし、温かみのある空間にしたい。このいしのまきカフェで石巻を活性化させて、誰でもこのカフェに来た人全員が幸せになるようにしていきたい」と語っていた。

実は、このカフェのメニューには、コーヒーがないのだそうだ。何ができるか知りたい方は、ぜひこのいしのまきカフェ「」に来てください!!

2012年11月11日 ここに3人の高校生が集まり、白いノートで、交換日記の下に手書きで意見などを書き込んでもらいました。意見の中には、「うきうきする」「うきうきする」「うきうきする」という言葉が、石巻のあたらしい音階になりますように! お問い合わせ: <http://isomaki-cafe.milis.jp>

【東北1000プロジェクト】

2012年10月22日

高校生がつくるいしのまきカフェ「_」

【助けあいジャパン 情報レンジャー】

2012年10月27日
これから始まる「」

助けあい
ジャパン

3.11復興支援プロジェクト
情報レンジャー

ホーム 福島県 265 宮城県 470 岩手県 15 ブログバーツ

宮城県 > 石巻市 > これから始まる「」



これから始まる「」

石巻市 - 2012年10月27日

石巻市の市役所1Fにある、複合商業施設エスタ。

その一角に「いしのまきカフェ「かぎかっこ」」が11月3日オープンを迎えます。取材日当日(10月27日)朝にやっと出来上がった店舗で、高校生がワークショップを行なっていました。

その店舗で日本財団ボランティア支援グループの金子知史さんと学生たちにインタビューしてきました。

震災から、ずっとサポートされる側だったけれど、今度は自分たちが中心となって、この街を盛り上げていきたい、という学生たちの願いを叶える店舗になります。

日本財団とフィリップモリスジャパンが、学生たちを元気づけたいと、企画がスタートした活動の具現化した形です。他のNPOとも協力、NPOみ・らいすさん、NPOスマイルスタイルさん、NPO Co.to.hanaさん が協力しています。

高校生たちとお店をゼロから作り上げていき、運営していくという事は成長につながるし、地元との交流も生まれていく。

高校生カフェなので、土日だけの営業になってしまうけれど、平日に拡めるお手伝いをしてくれるボランティアさんを募集しています。

高校生たちは、売上からアルバイト代が出るわけではありません。それでも、ちゃんと売上を上げていき経営をすること、商品の開発をしていくこと、宣伝活動もするといった事を自らが行うことによって成長していきます。

そして、その売上金を新たな商品開発や、店舗内の改装なりに使い、さらにステップアップしていく予定です。

金子さんもおっしゃっていましたが、こんな経験を積んだ高校生は、将来楽しみだし、OBの店なんかもできたらいいよね！

学校は、バラバラでも気持ちは1つにがんばる高校生カフェの今後が楽しみです。

いしのまきカフェ [ホームページ](#) [Facebook](#) [ブログ](#) はこちらです

レポート：[坂本恵一](#) | [情報レンジャー@宮城](#)



【日本経済新聞】

2012年11月3日

高校生が運営するカフェ、オープン

日経電子版 | Bizアカデミー | 住宅 | オフタイム | レストラン | ショッピング | 転職 | 日経BP |

ようこそ ゲスト様 | ログイン | ヘルプ

日本経済新聞

English

中文

Web版

速報

ビジネスリーダー

マーケット

マネー

テクノロジー

ライフ

スポーツ

朝刊・夕刊

My日経

復興ポータル

写真トップ 最新ニュース テーマ特集

東日本大震災 高校生が運営するカフェ、オープン



1 of 9

高校生が運営するカフェが3日、宮城県石巻市の市役所1階にオープンした。店名は“いしのまきカフェ「」(かぎかっこ)”。プロジェクトが発足したのは6月で、地元の高校生や市外から通ってくる生徒も参加している。NPOやボランティアの助けも借りながら、接客、調理、会計、商品開発、企画、運営に至るまで高校生が自分たちで行う。学業優先のため、営業時間は土日祝日の午前11時から午後6時。(2012/11/3)

▶ 東日本大震災一覧を見る

関連記事

- ▶ 2012年9月以前のアーカイブはこちら
- ▶ 電子書籍「記憶4」のお求めはこちら



オープンした“いしのまきカフェ「」”。学校をイメージした店内には黒板が置かれている



【共同通信】

2012年11月3日

石巻の高校生、週末にカフェ開く 「自然の魅力伝えたい」

Japan Press Network

47 NEWS
日本が見える

**47NEWS 週刊
TURN
OVER**
=ターンノーバー=

正社員の転職情報
NEW! 毎週火・金 新着求人更新中!

営業、工種はも
ど大手
今週の
で展開

トップ 地域ニュース 共同ニュース トピックス スポーツ エンタメ カルチャー コラム 医療・健康 マネー
主要 社会 政治 経済 国際 文化・芸能 科学・環境 医療・健康 春らし・話題 株 為替 新商品 おくやみ ニュース

47NEWS > 共同ニュース > 記事詳細

ニュース詳細 | 47トピックス | コラム「日めくり」 | 東日本大震災

 0  35  6   

石巻の高校生、週末にカフェ開く 「自然の魅力伝えたい」

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた宮城県石巻市で、地元の高校生が企画、運営するカフェが3日、市役所1階の空きスペースにオープンした。「石巻の自然の魅力を発信したい」との思いを込めて地元の素材にこだわったメニューを提供、初日から多くの客でにぎわった。

日本財団などの公募で、石巻市や近隣市町の高校から集まった38人が週末限定で運営する。店名はいしのまきカフェ「」(かぎかっこ)。

メニューは、石巻で盛んに食べられる鯨を使ったソースの野菜スティック、名産の桃生茶、地元で採れた野菜と果物のスムージーなど、自慢の食材にこだわっている。



宮城県石巻市役所にオープンした、地元の高校生たちが運営する
カフェ = 3日午後

2012/11/03 16:02 【共同通信】

【河北新聞社】

2012年11月4日

高校生カフェオープン「石巻に笑顔を」 地元食材利用



トップ 東北 内外 スポーツ 特集 河北DB ふらっと 動画・シネマ 暮らし 情報誌 就職・進学 ショッピング

一覧 | いのちと地域を守る | わがこと | 防災・減災 | むすび塾 | 防災・減災のページ | 3.11大震災 | 証言/焦点 | 3.11大震災 | 原発事故・放射線 |

特集

ツイート 0

いいね！ 5



—特集—

- 震災特集（ニュース）
- 東北再生 あすへの針路
～河北新報社、3分野11項目の提言
- 連載
 - ・証言/焦点 3.11大震災
 - ・学びや 復興日誌
 - ・歩み 震災から一被災地の四季
 - ・これから一大震災を生きる
 - ・再生せんだいーひと模様
 - ・記憶ーあなたを忘れない
 - ・ふんばる 3.11大震災
- »これまでの連載
- フォト特集
- 身元不明者の似顔絵／県警発表

関連特集

高校生カフェオープン「石巻に笑顔を」 地元食材利用



開店したカフェで利用客にジュースを運ぶ高校生ら

宮城県石巻市などの高校生らが開店準備を進めていた「いしのまきカフェ『』（かぎかっこ）」が3日、石巻市役所1階にオープンした。高校生が自主運営するため営業は土日・祝日の午前11時～午後6時となる。

店舗は約64平方メートルで、調理場やカウンターを備え、九つのテーブルと18個の椅子を設置。

「居心地のいい場所」というコンセプトで穏やかな雰囲気を醸し出すため、照明はオレンジ、壁の色はアイボリーを採用した。

メニューは石巻の魅力発信を目指し、地元産の野菜を使ったスティックと桃生茶のほか、ワッフル、ジュースを用意。一部の商品は持ち帰りもできる。

石巻市女高2年の高橋香さん（17）は「若い力で皆さんを笑顔にする店にしたい。年齢を問わず多くの人に利用してほしい」と話した。

高校生らは6月から商品開発、空間デザイン、広報の3チームに分かれ、ワークショップなどで計画を立ててきた。当初は「かぎかっこ」の中に入る店名も付ける予定だったが、若者の可能性や個性を表現できるとして、そのままにした。

カフェは日本財団などの東日本大震災被災地支援事業の一環として開設された。

2012年11月04日日曜日

印刷用ページ

【石巻経済新聞】

2012年11月5日

石巻駅前に高校生がつくるカフェ「かぎかっこ」、本格営業スタート

ヘッドラインニュース

石巻駅前に高校生がつくるカフェ「かぎかっこ」、本格営業スタート

ツイート

66

いいね！

83

+1

0

m

チェック

B!

Q

eb

この記事の場所を見る

(2012年11月05日)



写真を拡大

開店に張り切る高校生スタッフたち

石巻駅前市役所1階に11月3日、高校生カフェ「」(かぎかっこ)がオープンした。

当日はオープニングセレモニーが開かれ、多くの人にぎわった。同カフェはフィリップモリス・ジャパンと日本財団が協働して取り組む、東日本大震災の被災地の子ども支援共同プロジェクト「Doorway to Smiles(ドアウェイ・トゥ・スマイルズ)」の一環で誕生したものの。

今年6月から準備を始め、1期生・2期生含めて38人の地元高校生が関わっている。オープニングセレモニーでは情報発信を担当する高校生メンバーが今までの取り組みをプレゼンテーションし、今年8月の川開き祭りに合わせてプレオープンしたことや、地元水産加工会社を視察し商品開発に取り組むために合宿したことなどを発表した。

石巻市立女子高校1年の袖永美梨さんは「まだまだ完成していない。今日のオープンは通過点と捉え、今後も発展させていきたい」と力強く宣誓した。

店舗面積は約64平方メートルで席数は18席。メニューは、県産野菜を使った「かぎかっこスティック」(500円)や高校生が生地から作り上げた「ワッフルスイーツ」(400円)、石巻の豊かな自然をイメージした「グリーンスムージー」(Sサイズ=300円、Mサイズ=500円)など。今後、新メニューの開発や地元企業との協働による新商品開発などに取り組んでいく。

営業時間は11時~18時。土曜・日曜・祝日のみ営業。

▶ [石巻市役所に今秋「高校生カフェ」 – 開設に向け作戦会議開く](#)
▶ [高校生が作るいしのまきカフェ「」](#)

【ミヤギテレビ】

2012年11月13日

スーパーJチャンネルミヤギ



【msn産経ニュース】

2012年11月16日

Vol.27 高校生たちの手作りカフェ

msn 産経ニュース

ニュース 関西版 フォト

トップ 速報 事件 政治 経済 國際 スポーツ エンタメ ライフ 科学 地方

犯罪・疑惑 事故・災害 裁判 トピックス 写真 ランキング

「高めだった血圧が・・・」ダンカンさん（54歳）、心境を語る [PR]

事件

ブログに書く 引用ブログ ツイート 23いいね！ 71 |

【ボランティア 被災地通信】

Vol. 27 高校生たちの手作りカフェ

2012.11.16 13:11 (1/5ページ)

«商品、空間、広報 すべて企画»

JR石巻駅前にまったく新しいコンセプトのデザイナーズカフェ「いしのまきカフェ」（かぎかっこ）がオープンした。デザイナーは、地元石巻の高校生たち。商品、空間、広報などをゼロから企画してつくり上げた。「枠にとらわれずに石巻の自然をみんなに伝えたい」。そんな思いが込められた誰もがくつろげる、おしゃれスポットだ。

■刺激的で楽しい

カフェを企画・運営する高校生は約40人。仲間同士で応募したり、一人で参加したりとさまざまだ。カフェには、部活や予備校、バイト、趣味など高校生の放課後の要素がすべて詰め込まれている。

学校でカフェの案内を見て活動に参加したという石巻北高校3年の武山響（ひびき）さんは、「文化祭を最後に手芸部を引退し、卒業後はファッショングループデザイナーを目指す中、いろいろな年齢、バックグラウンドの人とみんなで一つの目標に進んで行く時間は、とても刺激的で楽しい。僕にとって東京の専門学校に行く前の貴重な時間になっています」と話す。

【ボランティア 被災地通信】いしのまきカフェ「___」に参加する高校生たち=11月3日、宮城県石巻市（日本財団撮影）

<前のページ 1 2 3 4 5 次のページ >

【仙台放送】

2012年11月18日
「ともに」



【東北放送】

2013年

ウォッチン！プラス 紋みやぎ



【ミヤギテレビ】

2013年11月24日
OH!バンデス



【とうほく復興カレンダー】

2012年12月17日

石巻の未来を担う高校生たち いしのまきカフェ「」

とうほく復興カレンダー

2012 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

トップページ



石巻の未来を担う高校生たち いしのまきカフェ「」

17
Mon
December,2012

Location :
石巻ハイバス 組合石巻支部 石巻
こだま
Google 地図
石巻市立 門脇学園 13
石巻市立

こんにちは!!!アリティーヴィーの彦坂です。先日、石巻市役所のそばに隣接するカフェの取材に行つてきました。

実はここ、ただのカフェではないんです!!!全国的にも世界的にも珍しい高校生が運営するカフェなんです。一体どんな思いで彼らはこのカフェを始めたのか、そこに携わる人たちのお話を聞いてきました。

このプロジェクトを運営する日本財団の公益・ボランティア支援グループ東日本大震災復興支援チーム所属の金子 知史さんのお話によると、震災直後は小学生向けの支援は充実していたものの高校生を対象とした支援が少なく、地元石巻の高校生たちも復興に向けて何か自分たちも力を貸したいという思いがマッチング出来ていない状態だったそうです。

いしのまきカフェ「」プロジェクトが始動してから、高校生たちも頼もしくなってきたと話す金子さん。その眼はまるでわが子の成長を見守る親のようでもありました。

プロジェクトに参加する高校生には、津波で家を流されてしまったという子もいました。同級生が地元石巻から離れていく姿を見送りながら、それでも石巻が好きだから、石巻を元気にしたい。そんな彼らの想いを少しでも感じてもらえば嬉しいです。どうぞ、ご覧ください。

いしのまきカフェ「」（かぎかっこ）
[アクセス] 宮城県石巻市駅14-1 エスタ石巻内(市役所1F)
[営業時間] 土日祝 11:00~18:00 (ラストオーダー17:30)
TEL:0225-23-9371 / Mail:cafe@doorwaytosmiles.jp



〔朝日新聞〕

2013年1月1日

カフェで街を元気に 宮城・石巻の高校生35人

朝日新聞

THE ASIAN SHANGHAI DIGITAL

現在位置：朝日新聞デジタル > 記事

2013年1月1日03時00分



カフェで街を元気に 宮城・石巻の高校生35人



いしのまきカフェ「」（かぎかっこ）で働く
高校生たち＝宮城県石巻市、日吉健吾撮影

【榎原織和】えんじ色の帽子とエプロンをつけた若者たちが、通りがかりの人に声をかける。「いらっしゃいませ。高校生がやってるカフェです。どうぞ」。小さいけれど落ち着いた雰囲気の店内に、親子連れや買い物途中のお年寄りが立ち寄っていく。

いしのまきカフェ「」(かぎかっこ)。震災で大きな被害を受け…

続きを読む

【朝日新聞一紙面】

2013年1月1日
カフェで街を元気に



【Date fm 「reSTART ! 石巻」】

2013年2月19日



【イシノワーカー】

高校生がつくるいしのまきカフェ「...」(かぎかっこ) 高校生スタッフ 秋山健太さんとのインタビュー

昨年の11月1日にオープンしたいしのまきカフェ「...」に行って来ました！お話をしてくれたのは、ルフコの中でも最も若いキャラクターの秋山健太さんです(笑)。



この高校生がつくる日にお邪魔にならなかったように、開店されたら店舗を立派にされてしまつたそうです(笑)。なぜなぜ？

どうやら、すでに同じ様子から4ヶ月ほど前ということです。本人は「まだオープンしてないのにクロリ」といつたが、なぜかと尋ねると「なぜか」と答えていました。

高校生がつくることで、自分が今まで見てはきたに驚きや喜びや感動などと関わっていきたいと話していました。

高校生がスタッフとして、これがらもいしのまきカフェ「...」にも関わっていきたいとお話ししていました。やりたいこと：母親がたくさんある美味しい両親をつなげたい。

また、ごくかられどんと人間関係していくってほんの1つとあります！

さて、そんな気質な高校生たちがいるいしのまきカフェ「...」では、現在新メニューを販売中です！



白身魚メニューとして、地元の野菜を使った新メニューです。



石巻のシャガイモを使ったいちもちです



【NHK教育テレビ】

2013年3月7日
「Rの法則」



【NHK教育テレビ】

2013年4月11日
「東北発☆未来塾」



【マガジンハウス「コロカル」】

2013年7月5日

MY GUIDE BOOK | ログイン | 新規会員登録 |

colocal マガジンハウス
Local Network Magazine

検索ワード 検索

HOME > おでかけコロカル > 宮城におでかけ > 石巻の地元高校生たちがつくるいしのまきカフェ「 」(かぎかっこ)

宮城におでかけ

O 石巻の地元高校生たちがつくる
いしのまきカフェ「 」(かぎかっこ)

posted: 2013.7.5

一人旅や家族旅行のプラン立てに。ローカルネタ満載の観光ガイドブックとして。
エリアごとに、おすすめのおでかけ情報をまとめました。ぜひ、あれこれお役立てください。

いいね! ツイート メール チャット コロカル MY GUIDE BOOKに登録



一人では作れないポーズ「 」

震災後、被災地を支援するために作られた
高校生がつくるいしのまきカフェ「 」(かぎかっこ)。
このお店のコンセプトは、地元高校生たちが
大人のスタッフのサポートを受けながら、企画、運営に
携わるというもの。

オープンから関わった高校生たちは延べ40人近く。
お店の名前、コンセプト、ロゴ、メニュー、空間デザインなど、
すべてをゼロから彼らがつくってきました。
店名は「 」と空いているところからスタートし、
何でも入る可能性や個性を大切にしたい思いから「 」のままとし
たそうです。
写真の2人(左:田口裕也さん/大人スタッフ、右:桜井志朗さん/
高校生スタッフ)
がつくるかぎかっここのポーズ「 」は、実は一人では出来ません。
そんなコンセプトも高校生たちが考えています。

【JFN「マジごファンクラブ」】

2013年8月16日

The image is a screenshot of the Maji Fan Club website. At the top, there's a navigation bar with links for 'ログイン', '新規会員登録', and '会員登録' (sign up). There's also a cartoon character of a girl in a yellow dress. The main content area features a post titled '笑顔があふれる高校生のカフェ『いしのまきカフェ』' (A cafe full of smiles by high school students 'ishi no maki cafe'). The post includes a photo of students in red uniforms working at a counter, and text about the cafe's menu. To the right, there's a sidebar with various sections: '石井先生' (Teacher Ishii), '村上チェック募集中!' (Checklist by Murakami), '今月のプレゼント' (Monthly Prize), 'マジファン計画' (Maji Fan Club Project), '日本育英会学生会議' (Japan Shokusei Kai Student Conference), and a 'マイページ' (My Page) section with a user profile for 'maji_girl'. The bottom of the page shows a video thumbnail of a girl speaking.